

皮膚炎自然発症犬を用いた高純度軟化水による皮膚炎改善効果の検証

大森啓太郎¹⁾、田中あかね¹⁾、巻田優花²⁾、高井政貴²⁾、吉成佑治²⁾、松田浩珍¹⁾
(東京農工大学大学院・共生科学技術研究院¹⁾、三浦工業株式会社²⁾)

【目的】これまでに我々は、高純度軟化水（UPSW）による洗浄がアトピー性皮膚炎自然発症マウスの皮膚炎症状を緩和することを明らかにした。イヌはアトピー性皮膚炎などを自然発症するモデル動物であることから、本研究においては皮膚炎自然発症犬を用いてUPSWの皮膚炎改善効果を検証した。【方法】皮膚炎を自然発症し痒みを主症状とするイヌ11頭を市販のイヌ用シャンプーを用いて週に1回、1ヶ月間、UPSWまたは水道水でシャンプーした。被験犬は、UPSWによるシャンプーを行い、その後一定期間を置いて水道水によるシャンプーを行った群と、水道水によるシャンプーを行い、その後一定期間を置いてUPSWによるシャンプーを行った群とに無作為に分類した。試験前および試験終了後に、皮膚炎スコアおよび痒みスコアを評価した。【結果】皮膚炎自然発症犬をUPSWによりシャンプーしたところ、皮膚炎および痒みスコアは有意に減少したが、水道水によるシャンプーでは両スコアの有意な減少は認められなかった。【考察】本研究において様々な動物種に対するUPSWの効果が明らかとなったことから、アトピー性皮膚炎のヒトに対するUPSWの有効性が推察された。